

明治41（1908）年7月発行

愛知県 編

愛知県耕地整理事業報告 第壹輯 より

碧海郡六ツ美村大字下中島耕地整理成績 を読む

「即年々ノ生産増加八実ニ整理費用予算ノ五割四歩強ニ当レリ豈驚ク可キノ利益ニアラスヤ」(pp86) とその予想を超えた経済効果にみんなビックリして喜び合いました。ブランド米“中島村整理米”が大人気。地価も倍増。

工事を地元の人だけで行うようにしたので、「自分の田畑は自分のこの手で改良するのだ」という意欲が湧き、仕事がいねいになるとともに、愛郷心が深まりました。また支払われた工賃は地元を潤おし、借入金の返済を容易にしました。

20世紀初頭の耕地整理に関する、愛知県レベルでまとめられた報告書の中から、当地に関する部分について詳しく読んでみました。 KATO, T 2014/01/01

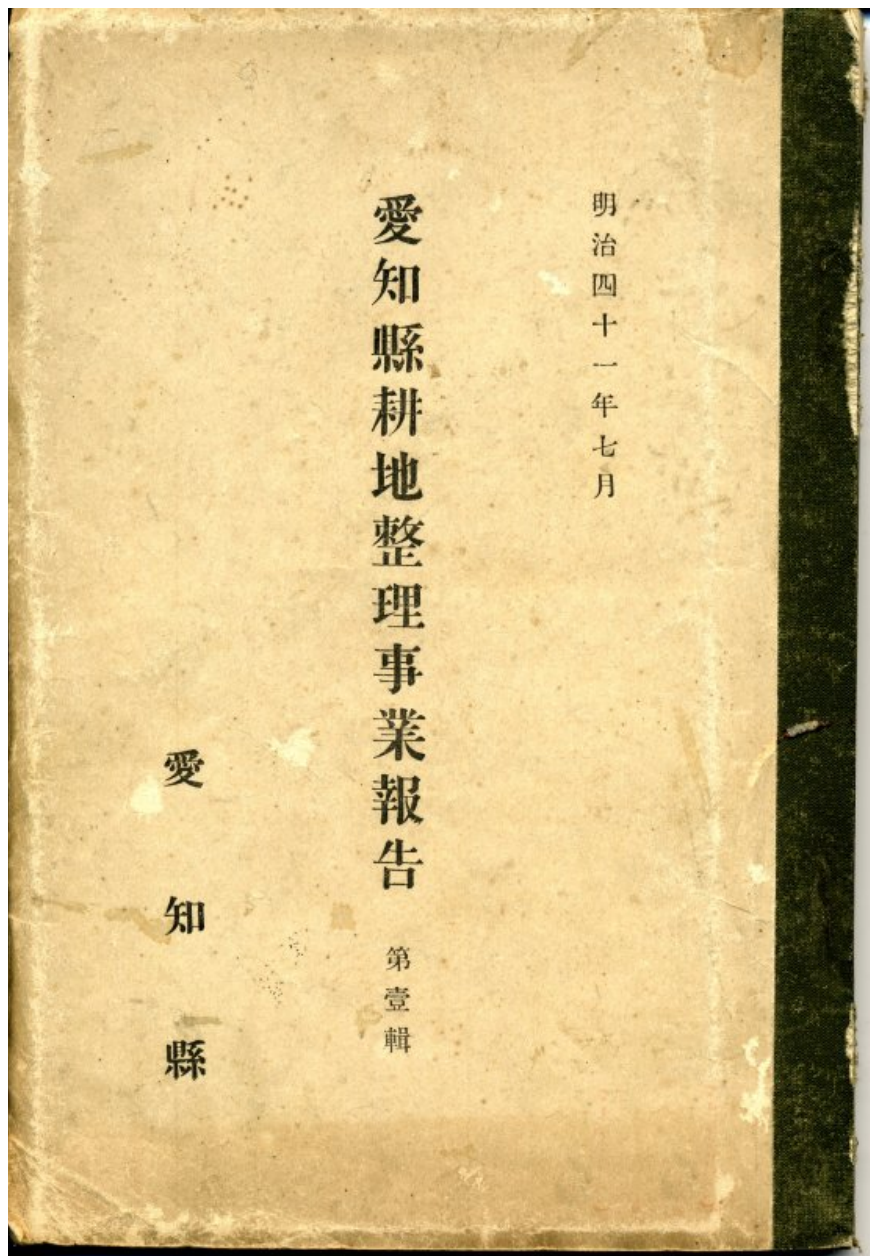


図1 表紙写真

明治41年（1908）6月現在 愛知県の耕地整理事業の進行状況
 円の大きさ：面積 円周角：進行程度

圖較比積面地行施理整地耕下縣

在現月六年一十四治明

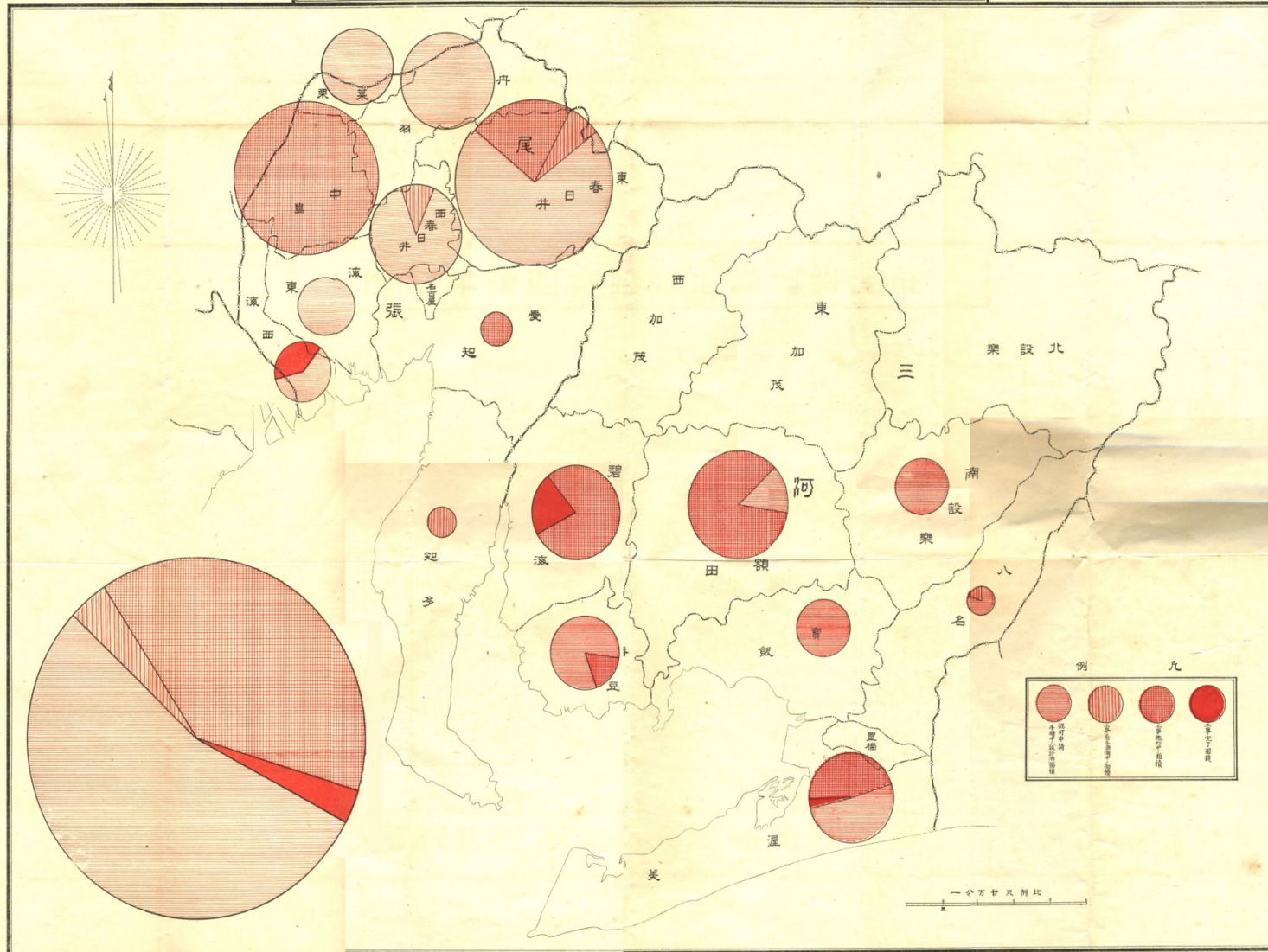


図 2

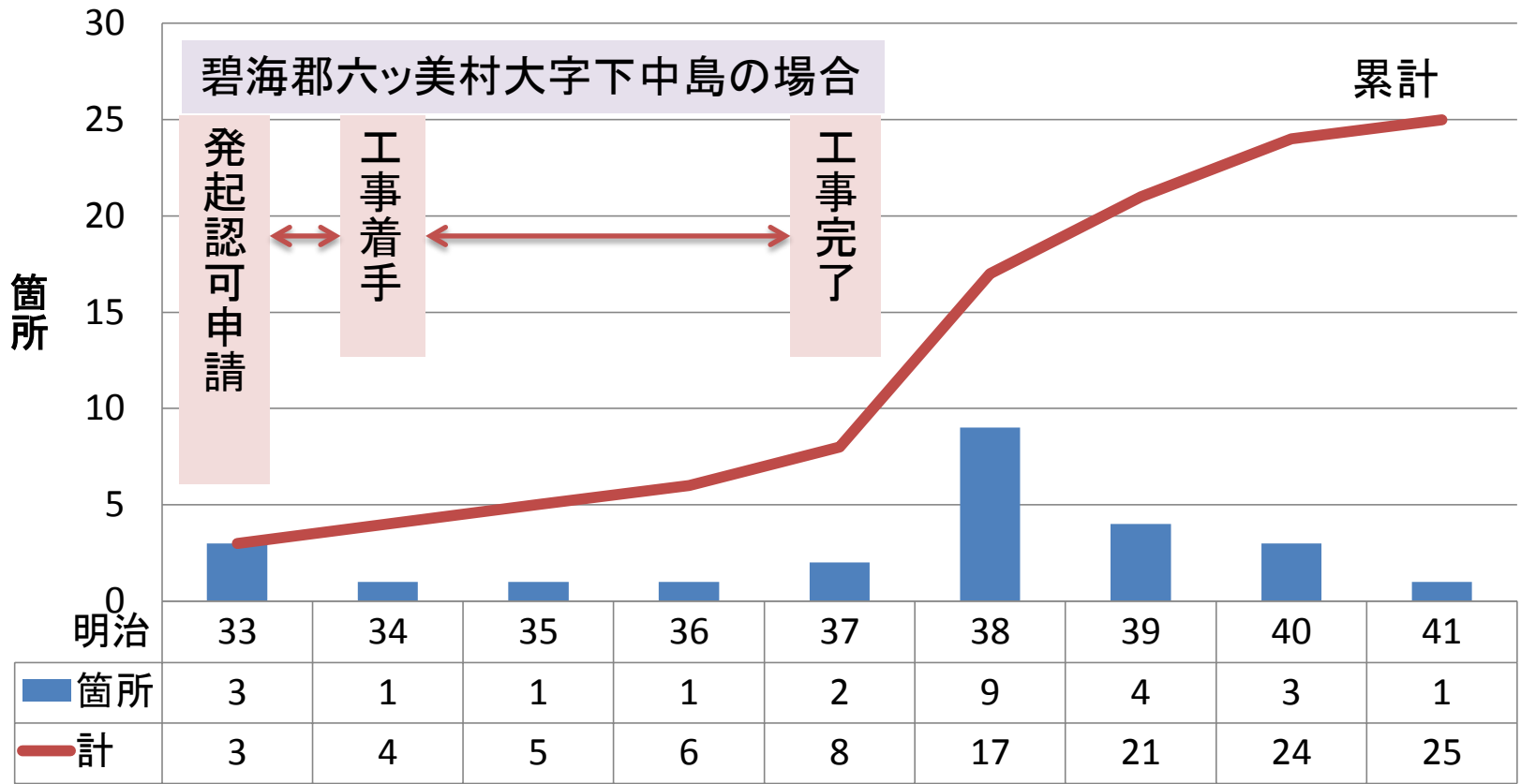


図3 愛知県 年度別実施状況（箇所数）

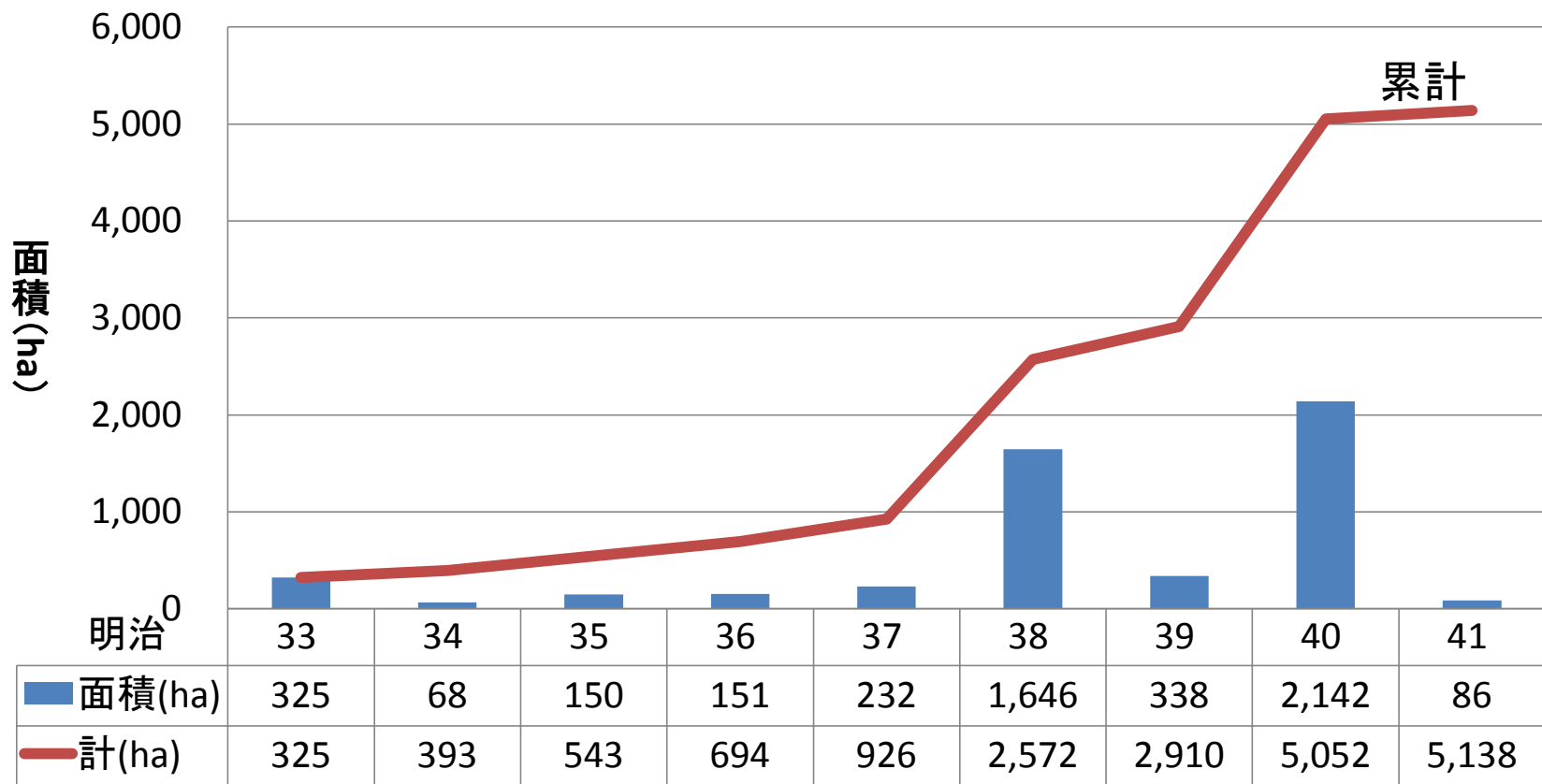


図4 愛知県 年度別実施状況（面積）

編注；中島 162.5ha はここに入っていると思われる。

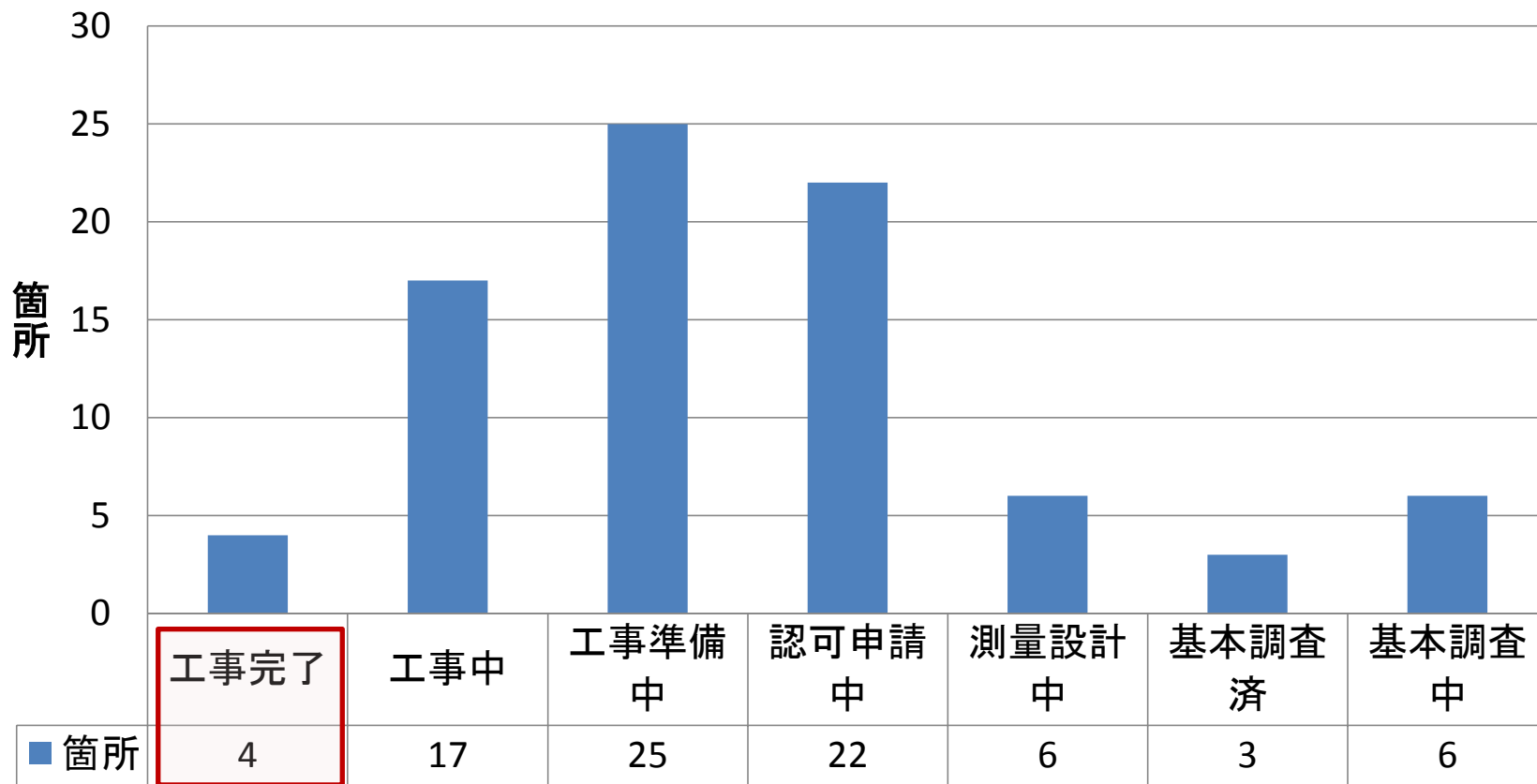


図5 事業進捗程度別実施状況（明治41年6月現在）

工事完了 4箇所（計83箇所中）
 碧海郡六ツ美村大字下中島 海西群市江村大字東條
 海西群市江村大字西條 渥美郡高師村大字植田

慶起縣碧瀨郡六ツ美村大字中島耕地整理舊形圖

一之分千六度尺



图6 旧形图

慶 紀 縣 碧 海 郡 六 美 村 大 字 中 島 耕 地 整 理 確 定 圖

一 之 分 千 六

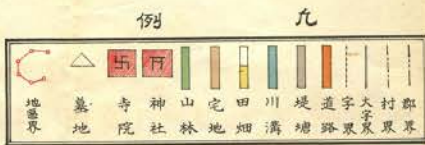
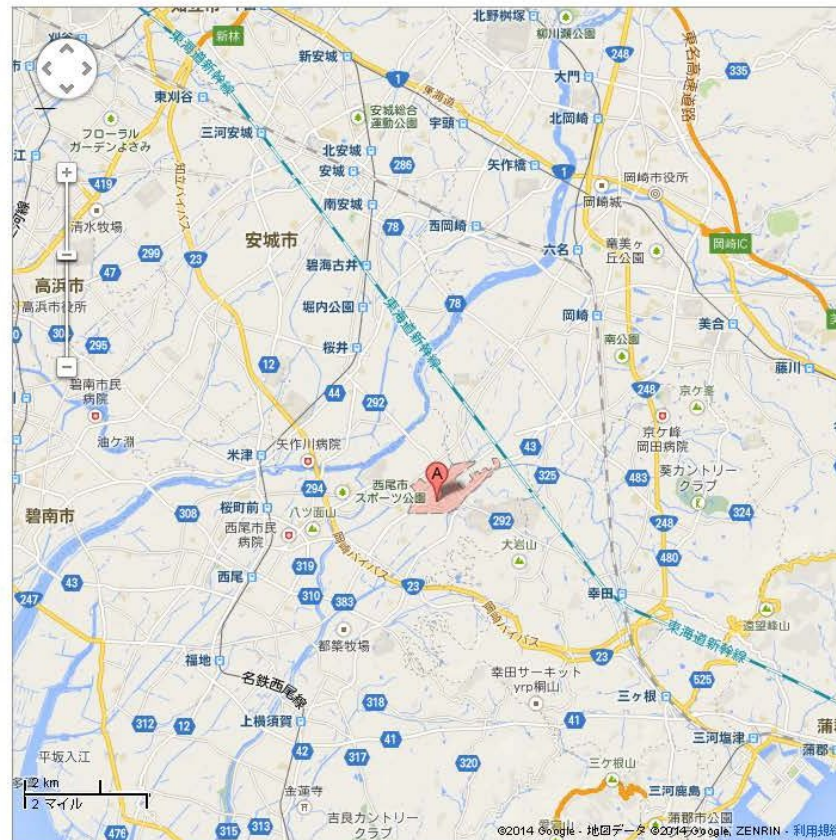


図 7 確定図

1. 整理地区の位置及び面積

(pp61-62)

現在の 愛知県岡崎市中島町



(Google map)

図8 整理地区の位置

表 1 整理地区の面積

地目	面積(反)	地価(円)	筆数	一筆平均面積(反)
田	825.309	44,889.990	1,583	0.5063
畑	508.315	11,628.080	1,057	0.424.2
宅地	137.317	6,273.440	308	0.411.7
小計	1,471.011	62,791.510	2,948	
雑地	6.916	24.059	25	0.223.4
合計	1,477.927	62,815,569	2,973	-
官有地 道路	42.223		99	
溝渠	3.010		7	
堤塘	42.628		26	
畦畔	59.4055		-	
小計	147.4065		132	
総計	1625.4031	62,815.569	3,104	

(細部に計算誤りがあります。また、地価は時価より低く示されているようです。)

2. 整理前土地の状態 (pp62-67)

- **一般**：以前の生産力 1 反 4 俵以下、河川の開鑿・改修を行い 6 俵くらいまで増収となったが、耕地形状不整のためまだ十分な効果が得られていない
- **用水**：畦越し掛け流しが多い。水路から遠い田は水不足
- **悪水**：低湿で二毛作ができない田がある
- **交通運搬**：農車の通れる耕作道が少ない
- **耕作**：二毛作は一部、人力耕作が主流、労力不足
- **生産**：水田は先の高橋用水開鑿、安藤川改修により 5 割増収となったが、畑は木綿と藍の衰退（時代背景）により採算がとれなくなった

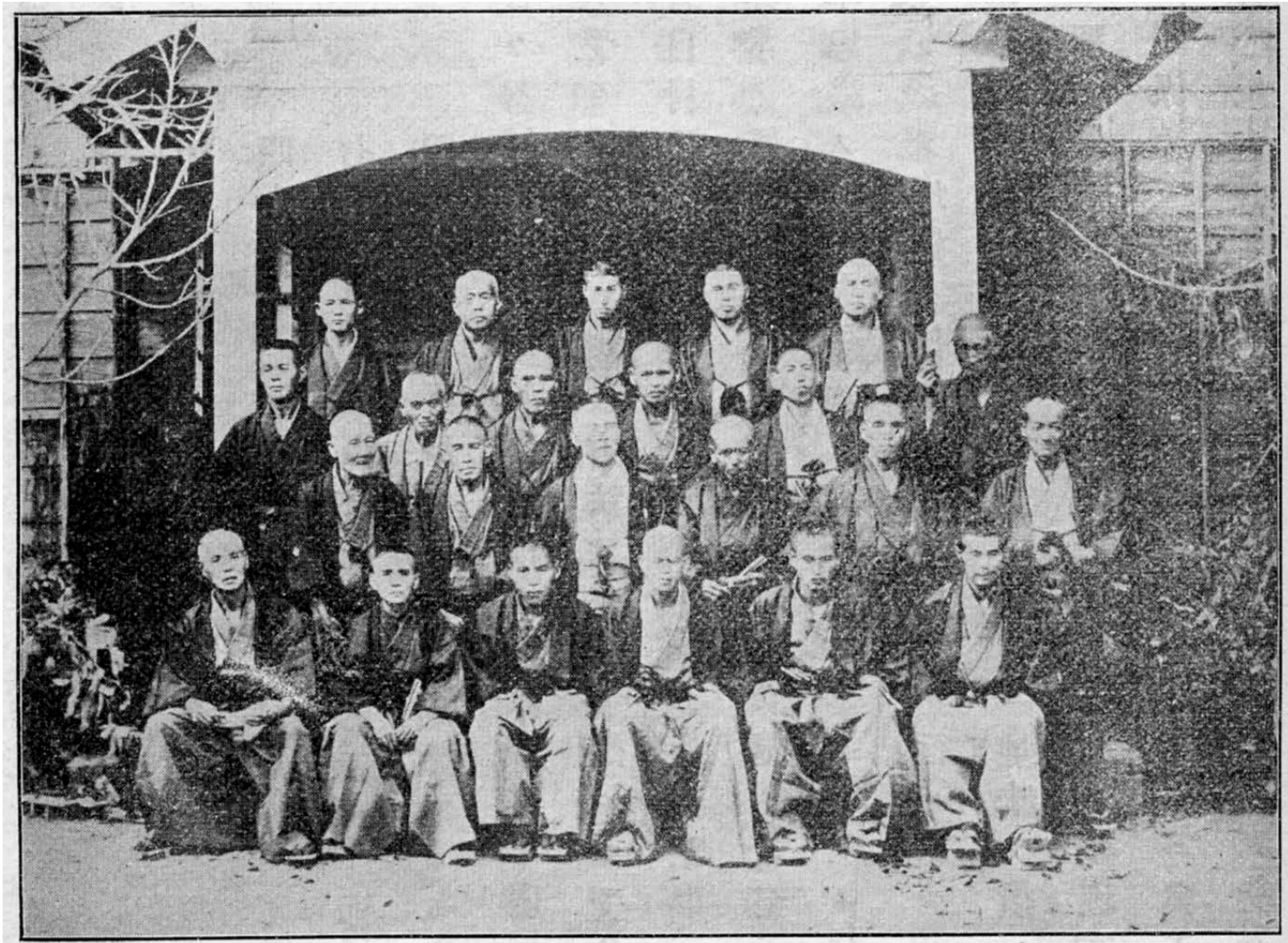
3. 発起の由来 (pp67-72)

- **土地所有者の意向**：土地改良が最急務、耕地整理法発布が好機
- **整理の目的**：畑⇒田転換、用排水路設置、耕作道設置、区画拡大
- **発起**：明治33年（1900）12月12日 早川龍介はじめ発起人15名
- **認可**：明治33年（1900）12月22日発起認可 翌年3月29日施行認可
- **整理委員**：委員長 早川龍介はじめ23名（次頁、表2）
- **編注**：大正13年（1924）発行の整理委員会編集の最終報告書によれば、整理委員は、さらに本田九郎治、鶴田勝助の2名を加えて25名となっている。また、記念碑も25名となっている。

表2 整理委員名簿（23名）

役職名	氏名
整理委員長	早川龍介
同 副委員長	鍋田恒雄
同 同	鶴田勝蔵
同 事務長	早川治三郎
同 会計係	榊原勘助
同 同	太田卯吉
同 庶務係	早川大助
同 同	早川定之助
同 同	石川種吉
同 同	太田次郎兵衛
土地価格評定	大竹文左衛門
及土地割付係	杉浦喜助

役職名	氏名
土地価格評定	杉浦藤助
及土地割付係	鋤柄冶右衛門
同 同	太田瀧三郎
同 同	鋤柄與右衛門
同 土木係	市川文兵衛
同 同	杉田文六
同 同	早川林吉
同 同	赤松徳之助
同 同	本田利右工門
同 同	高橋徳次郎
同 同	鵜野音助



員委理整地耕村島中下

図9 耕地整理委員

4. 整理施行 (pp72-77)

- **整理費用借入**：予算の25,261.850円のうち、25,000円は、年利8朱（0.8%）で、20ヶ年賦償還法により尾三農工銀行より借入
- **工事の概要**：次のように4期に分けて実施

期 日	34. 5月	34冬～35春	35冬～36春	36冬～37春
施行面積	用水及0.4ha	47.2ha	71.8ha	43.1ha

- **不思議の瑞祥**：「土の中から金が出る・・・」と歌ったら、ほんとに古銭が出たのでビックリ！
- **精勤者**：鶴田勝蔵（委員長代理） 早川治三郎（庶務）
- 本田利衛門（測量・製図） 大竹文左衛門 高橋徳次郎 榊原勘助

表3 整理費用予算

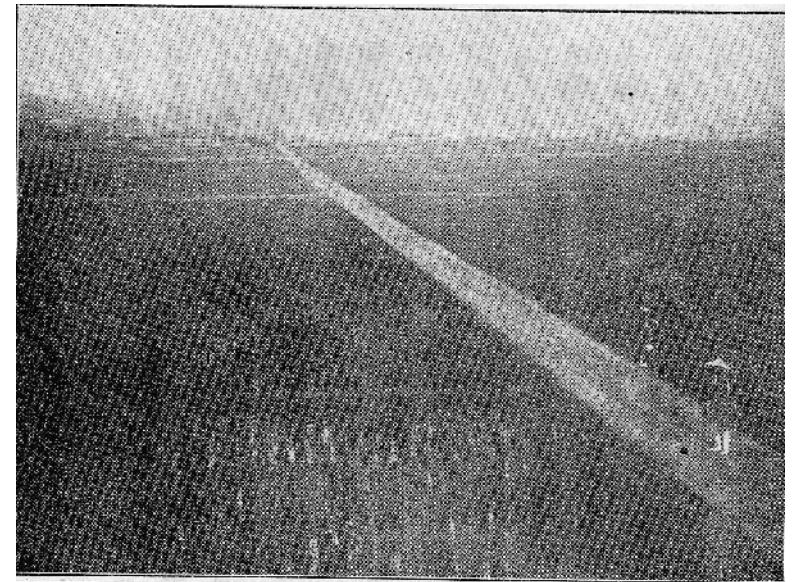
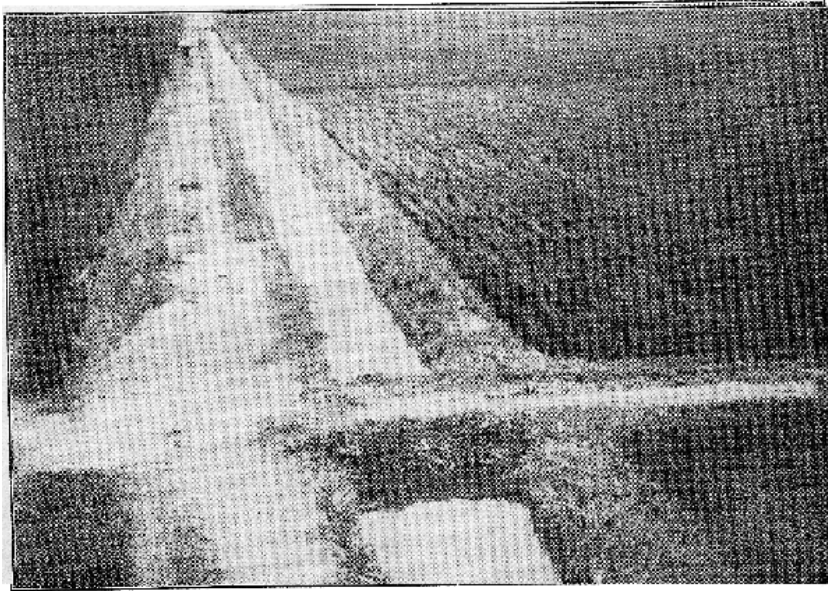
内 訳	予 算 (円)
道路、溝渠、畦畔等廃設工事	17,830.375
橋梁、樋管、堤塘新設工事	1,974.375
測量及製図費	584.600
整理委員手当報酬及び旅費	1,250.000
雑費（器械、器具、その他消耗品等）	3,622.500
合 計	25,261.850

上記予算のうち、25,000円は、年利8厘（0.8%）で、20ヶ年賦償還法により尾三農工銀行より借入

5. 工事完了 (pp77-85)

- **竣工式挙行**：明治37年（1904）5月8日11時～
- 於 明生池地内 乾田会場
- 青竹矢来、幔幕、大ア一子、祭壇、神饌、花火、式典
- **来賓祝辞**：農商務次官 和田彦次郎氏
- 愛知県知事 深野一三氏
- 碧海郡長 脇屋義純氏
- **告辞**：副整理委員長 鍋田恒雄氏
- **答辞**：副整理委員長 鶴田勝蔵氏

原真地理整地村島中下



地景實理整地新村島中下

中島ブランド



中島村整理米

図10 完成した水路・農道・田

6. 整理によって得た利益

(pp85-93)

表4 各種効果

項 目	内 容
収穫の増加	収益の増加金額 13,705円 （整理費用予算の54%相当）
灌漑・排水の便	直接用排水路設置、畦越し灌排水廃止、 二毛作
労力の節減	交通運搬の便等により 省力化30% 、牛耕普及
耕種肥培の改良	共同苗代 、害虫駆除、資材共同購入、・・・ 米全数品質検査、 ブランド米 “中島村整理米” 発売
増耕地	開墾、畦畔の廃止等により、2.4ヘクタール増加、 金額 7,147円 相当、 整理費用予算の28%相当
整理地時価の騰貴	整理後、従前に比べて、 ほぼ倍加

編注：増耕地の金額は、公示価格ではなく時価（300円／反）で見積もっている。

表5 収益 新旧対照表

作物の種類		整理前			整理後					差引 収益 (円)
		反別 (反)	収量 (石)	価格 (円)	反別 (反)	反当収 量(石)	総収量 (石)	単価 (円)	価格 (円)	
田	米	803.1	1,927	28,913	1055.8	2.600	2,745.	15,00	41,176	12,263
	麦	223.0	290	2,029	860.0	1.600	1,376	7.00	9,632	7,603
	菜種	160.0	128	1,280	95.0	1.000	95	10.00	950	-330
畑	麦	425.0	935	6,545	150	2.20	320	7.00	2,240	-4,305
	陸稻	253.0	506	8,696	68	2.00	120	16.00	1,920	-6,776
	桑	35.0	14,000	1,750	140	400	56,000	0.125	7,000	5250
計			49,213					6,2918	13,705	

但し、桑の収量の単位は(石)ではなく(貫)としている

即年々ノ生産増加ハ実ニ整理費用予算ノ五割四歩強ニ当レリ豈驚ク可キノ利益ニアラスヤ

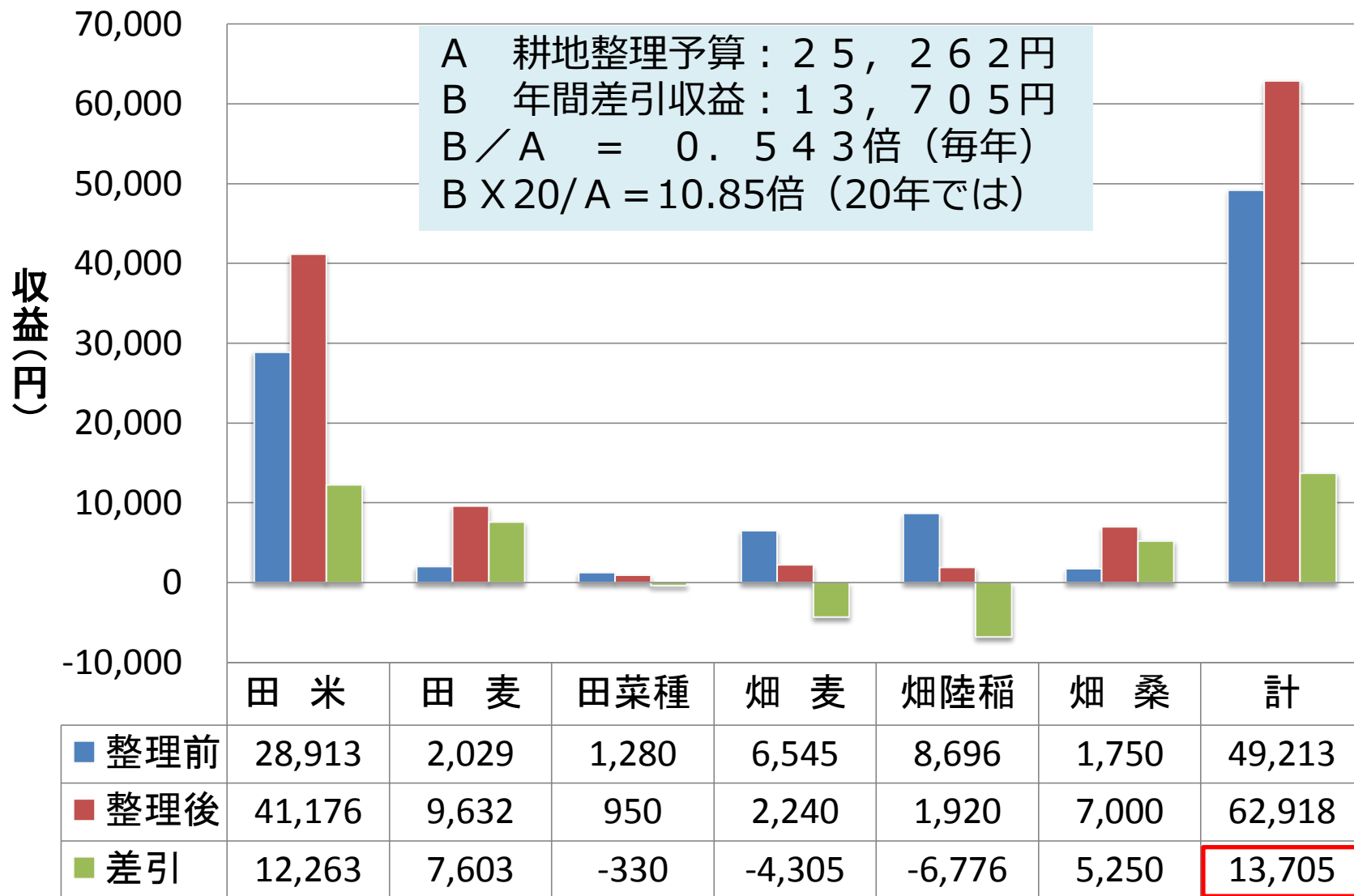


図11 収益 新旧 対照グラフ

表6 面積・筆数 新旧対照表

地目	整理前		整理後		差引増減 (反・筆)	
	面積(反)	筆数	面積(反)	筆数		
田	823.016	1,631	1053.307	1,367	230.291	-264
畑	506.210	1,051	299.726	582	-206.484	-469
宅地	137.317	299	146.217	244	8.900	-55
山林	3.917	17	2.817	10	-1.100	-7
原野	11.721	17	0	0	-11.722	-17
池沼	2.713	2	0	0	-2.713	-2
火葬場	0.200	1	0.618	1	0.418	0
墓地	1.429	15	1.821	7	0.392	-8
隔離病舎	1.018	3	1.018	1	0	-2
計	1,487.821	3,036	1,505.804	2,212	179.82	-824

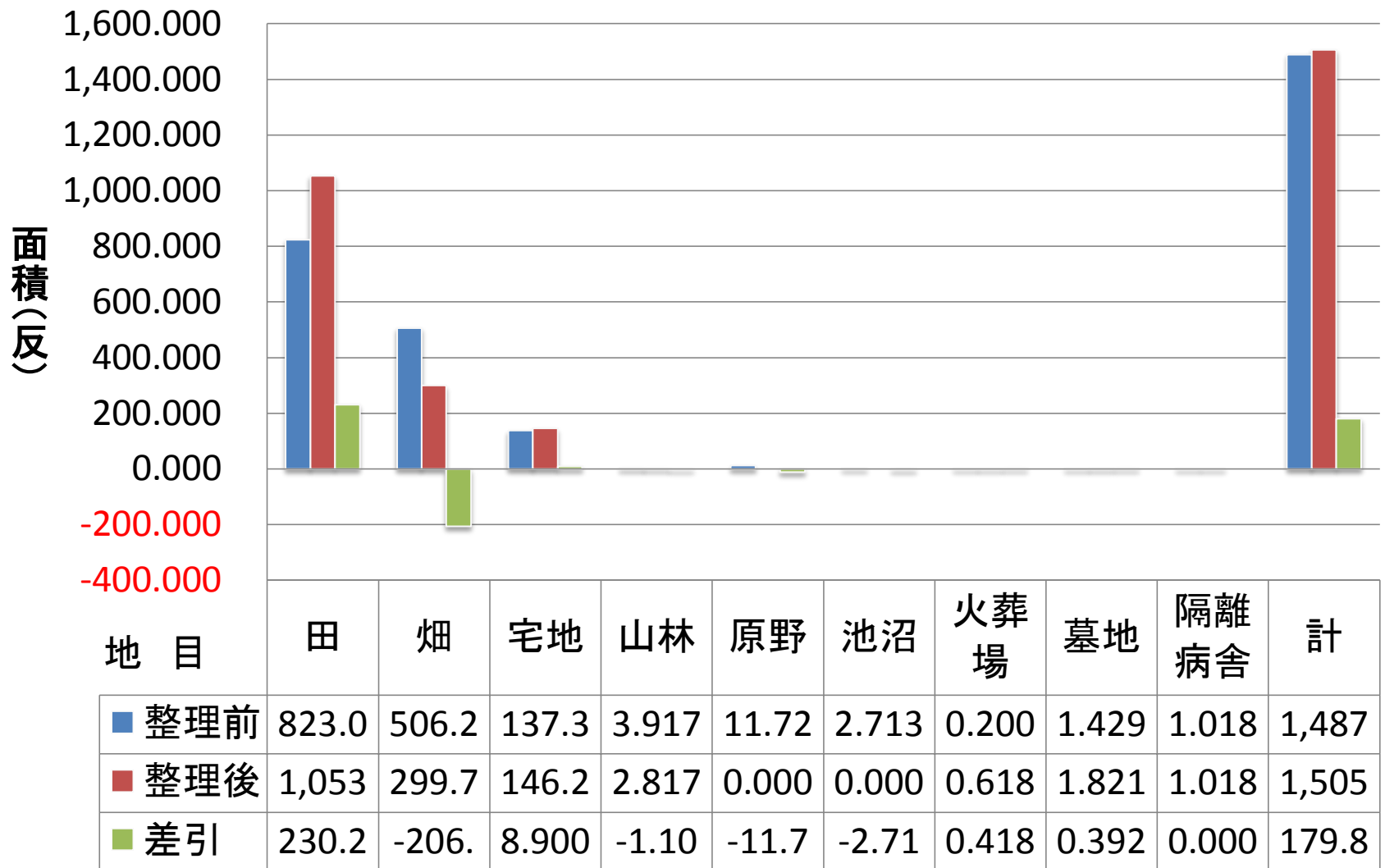


図12 面積 新旧 対照グラフ

7. 土地評価および換地交付 (pp93)

- 土地評定は整理事業中の最難事であった。
- 過去に種々の改修工事があって、土地台帳に重きをおけない状況
- 各字に各等級の標準地を選び、これと比較対照してその等級を定め評定を行った。
- 換地は出来るかぎり以前の所有地を交付することとした。
- そのために先ず、①原形図上に整理予定線を描き、②予定区画が旧区画の大部分を占めるものに対しては、その所有者に**仮交付**をして、③整理工事完了後、さらに土地各筆について評価をおこない、整理前の評定価格と対照し、換地交付を行った。

8. 地価配当方法 (pp93-106)

- ①. 整理後の土地に対し各等級ごとの標準地を定める。
- ②. 各標準地に適合した土地の面積を等級別に集計する。
- ③. 各等級に配当すべき地価反金（ちかたんきん）を予定して其の乗積を求める。
- ④. 従前の地価総額と比べ、総額が同額となるまで予定地価反金を調整、繰り返し計算して新しい地価反金を決定する。

耕地整理地価反（たん）金表

- **編注：** 原文献では表の形式となっていますが、膨大ですのでグラフ化してみました。（次ページ 図13）
- 田と畑との落差がひどいことが目立ちます。畑は田の半額以下に冷遇されていました。
- この表から当時の地価の水準がわかります。但し、土地台帳レベルの金額、いわゆる公示価格のようなものですから、時価より相当（数分の一？）低くなっているようです。別の個所に、「時価一反歩参百円に見積もれば・・・」という表現がありますので、このくらいが相場だったのかもしれない。

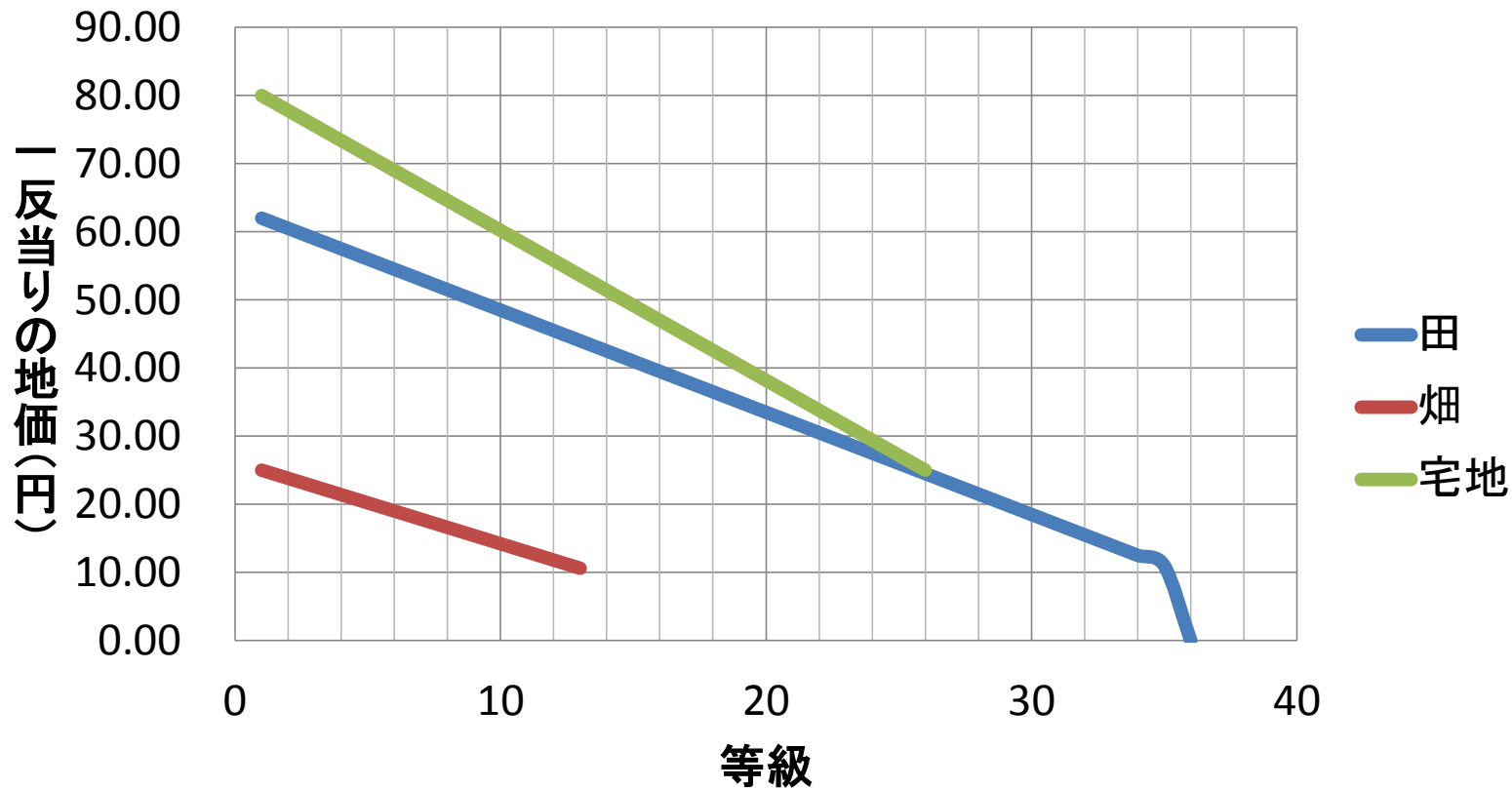


図 1 3 整理地価反金表

編注 原文献では表形式となっていますが、膨大ですのでグラフ化してみました。当時の地価の水準がわかります。但し、いわゆる公示価格のようなものですから、時価より相当（数分の一？）低くなっているようです。

9. 登記の方法 (pp106-110)

- 数千筆の土地を一度に申請することは実務上困難であったため、数回に分けて申請した。

10. 資金返済の方法 (pp111-114)

- **1. 工事着手まで**：借入金中から返済
 - **2. 工事中**：仮渡地に対して掟米の標準額（等級、新旧）を定め、新旧の差額の米を徴収し、その売却代金で返済
 - **3. 工事完了後**：換地交付後は掟米を廃し、規約により金銭を徴収
- しかし、明治35年から明治39年の5年間で、掟米売却と換地交付に伴う収入金額が多くあったため、残った毎年の償還金額は僅少となり、税金の減額まで考慮すると、上記3項の金銭の負担は負わなくてよいという結果となった。

1 1 . 整理費用の精算

(pp114-117)

表7 精算書

明治33年11月～明治40年8月		精算書
収入	60,056.140	収入金総額
支出	59,019.611	支出金総額
収支差引	1,036.529	残余金残務取扱費に充当

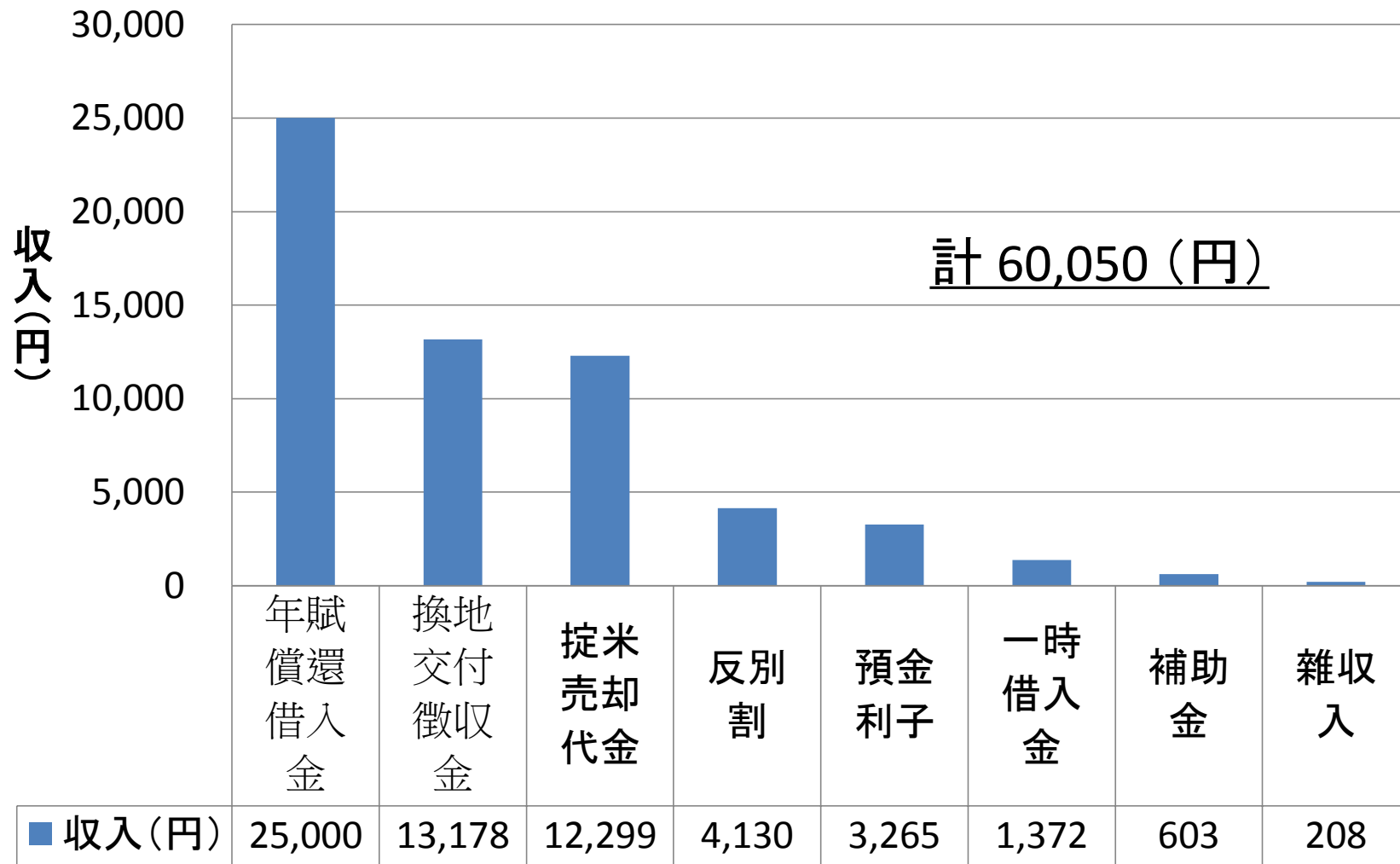


図 1 4 収入の部

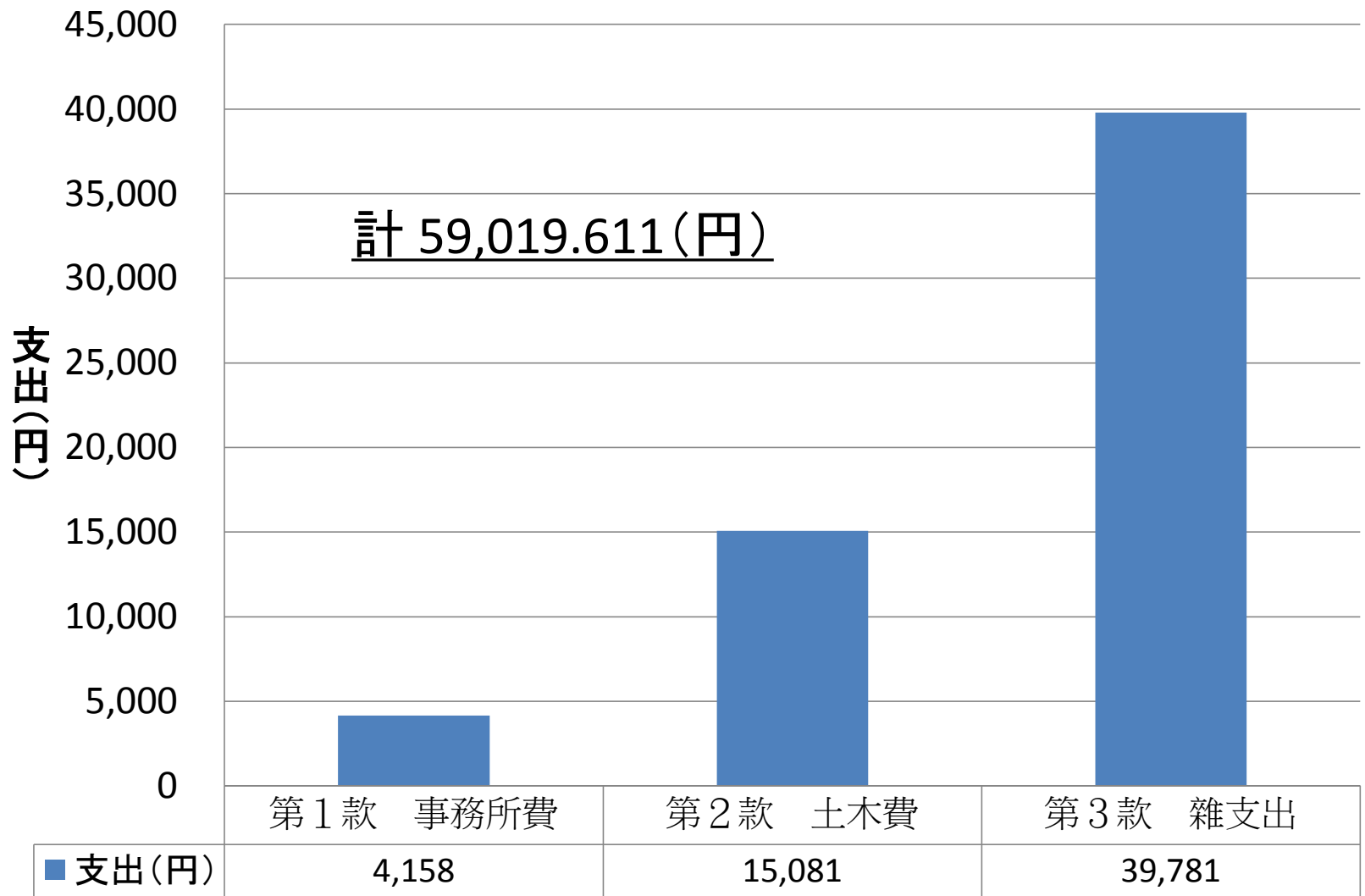


図15 支出の部

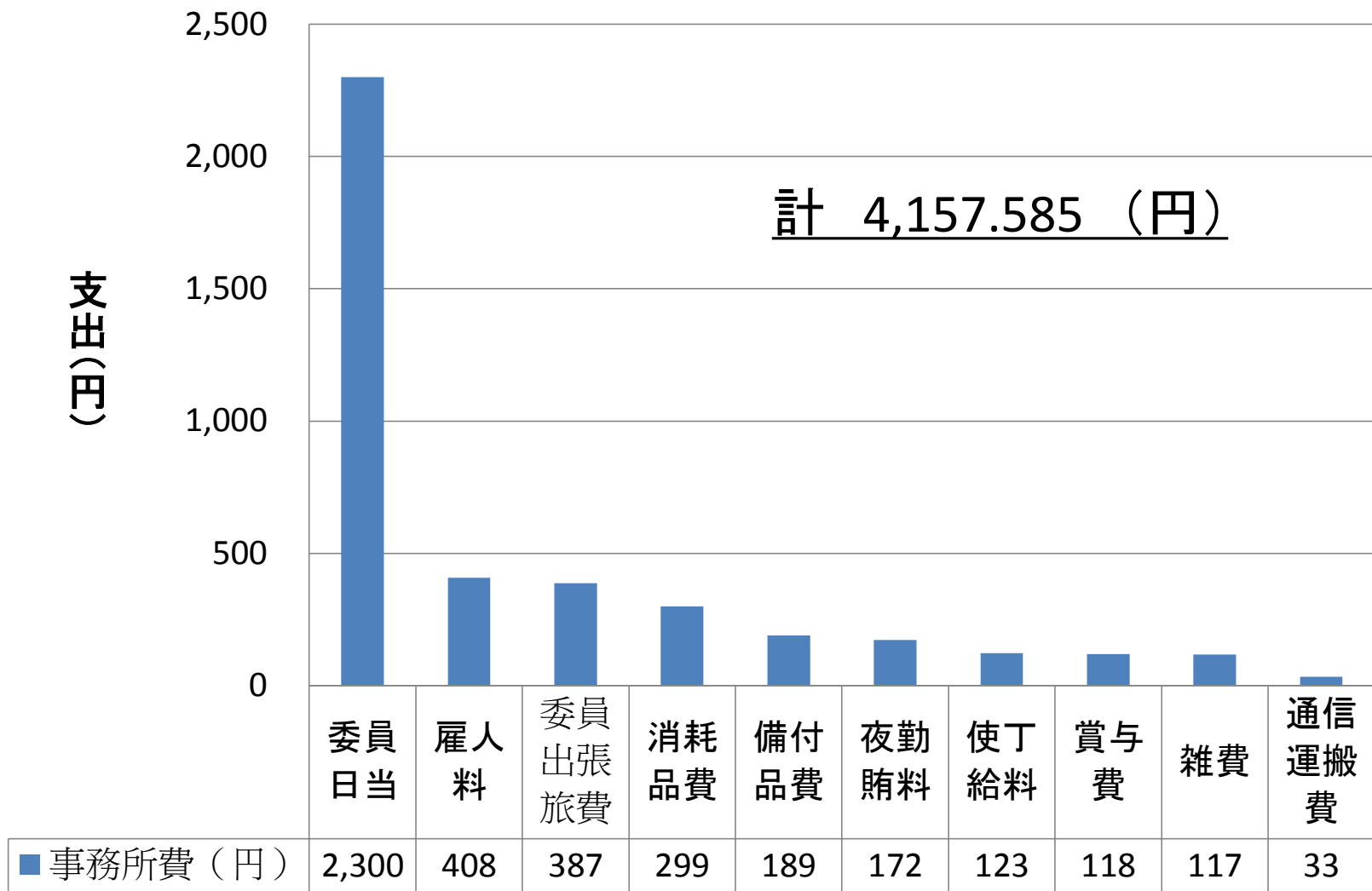


図 1 6 第 1 款 事務所費

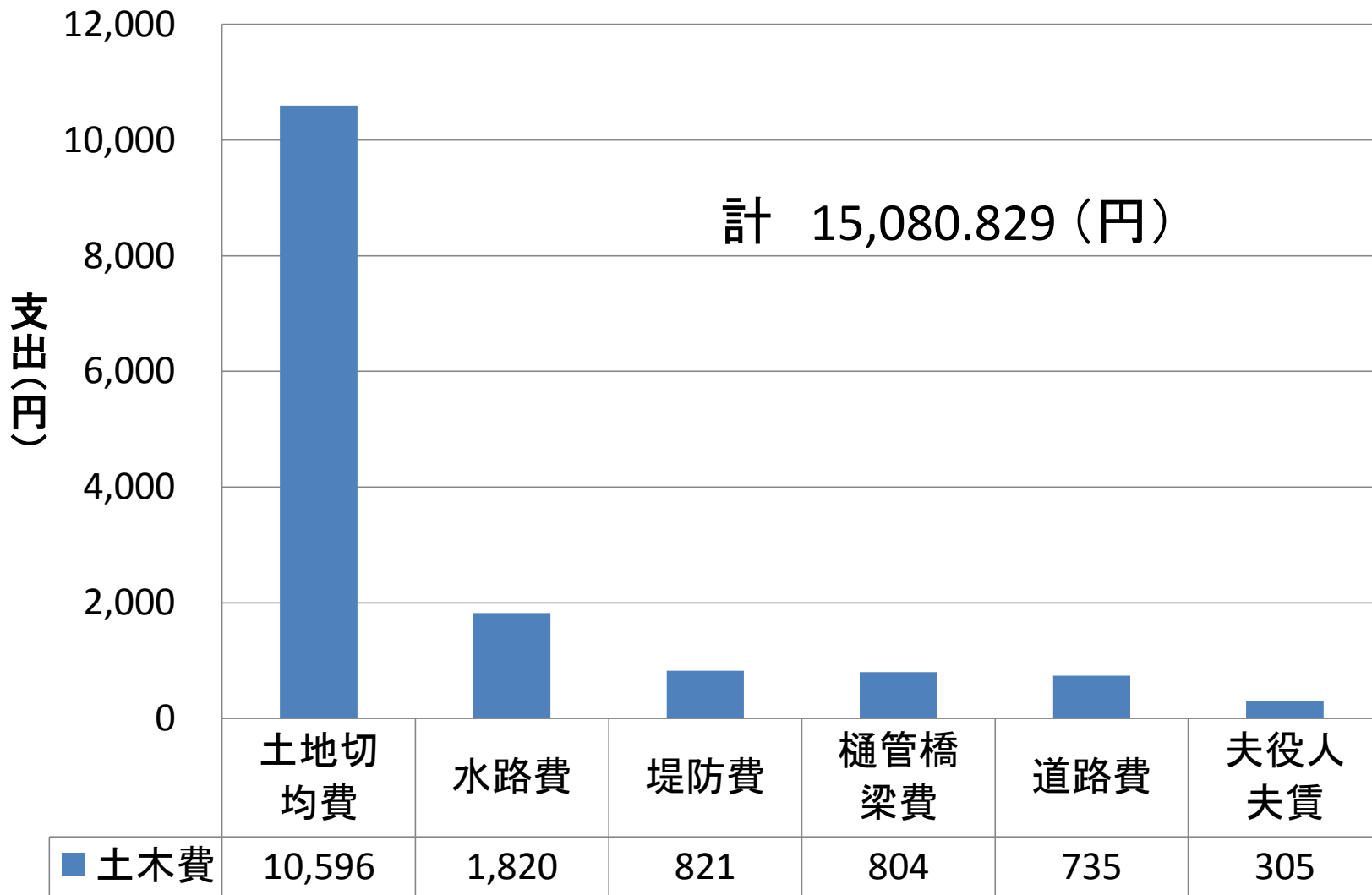


図 1 7 第 2 款 土木費

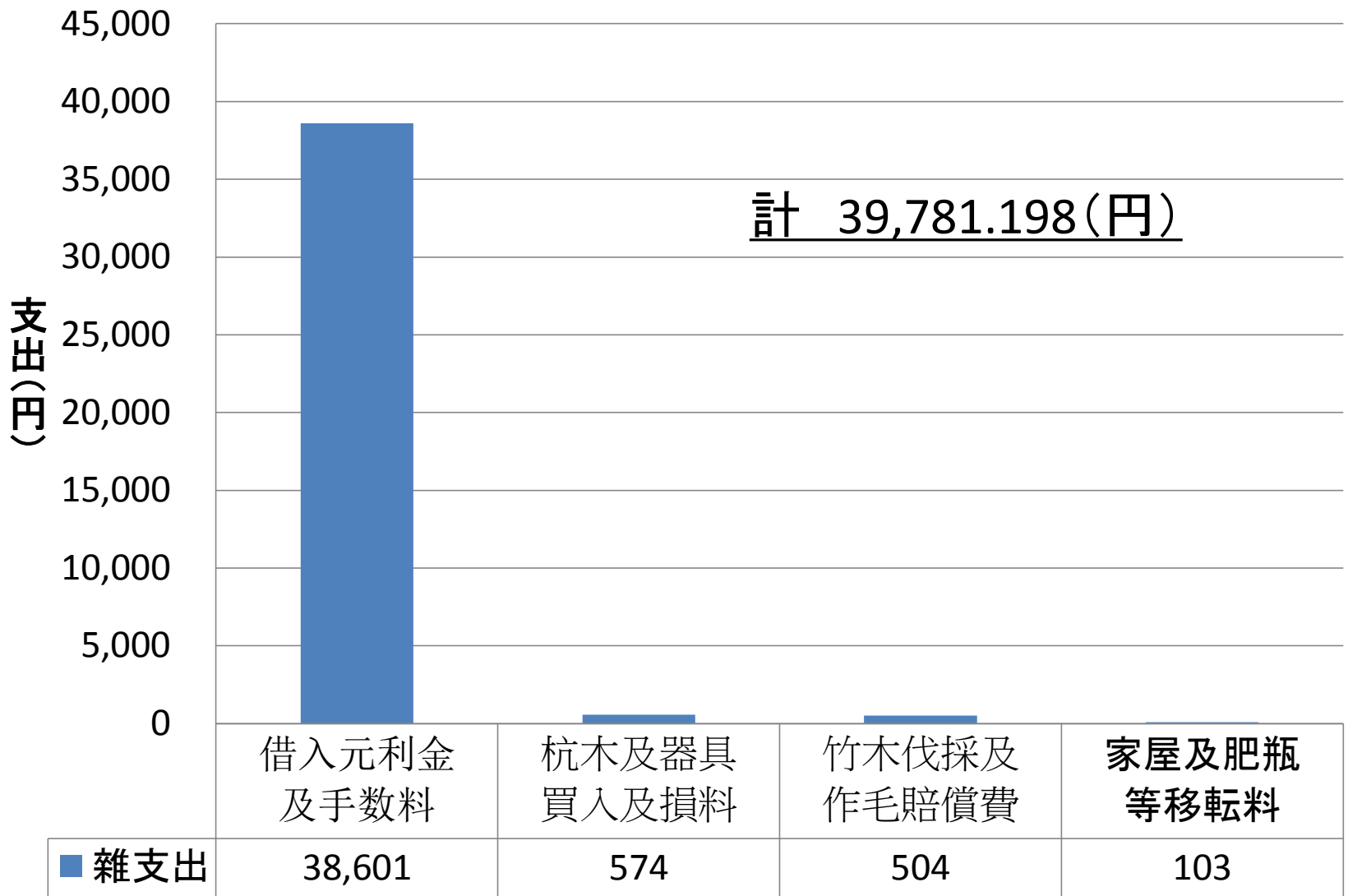


図 1 8 第 3 款 雑支出

1 2. 整理地の維持管理 (pp117-125)

1 3. 小作料の新設定 (pp126-128)

- **1 2. 整理地の維持管理**
- 管理組合を結成、申し合わせ規約を作りこれに従って運営

- **1 3. 小作料の新設定**
- 耕地整理の結果、著しく収穫が増えたので、小作料も上げることになった。(次ページ 図19)

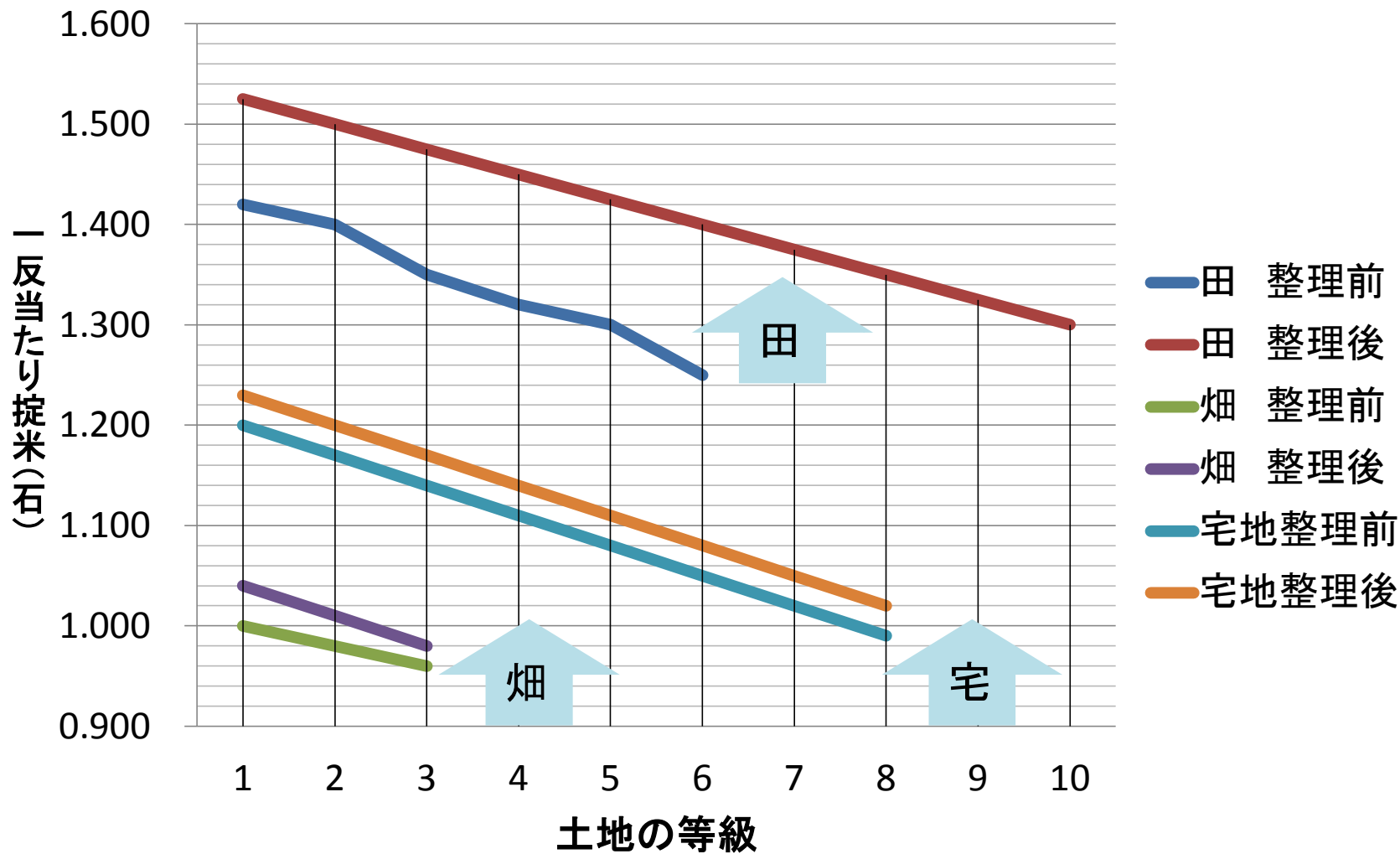


図 19 小作料の新設定

1 4 . 功勞者表彰 (pp128-131)

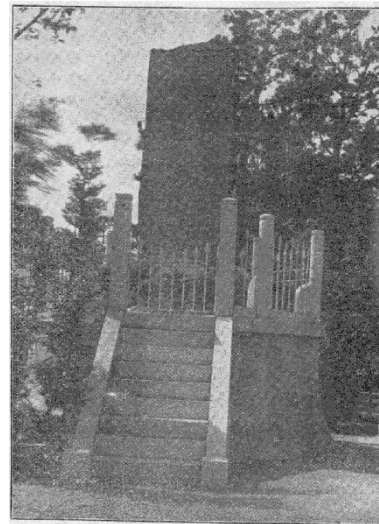
- **1 4 . 功勞者表彰**
- 明治39年（1906）3月26日
藍綬褒章受章

- **1 5 . 記念碑設立**
- 明治38年（1905）8月11日
- 農商務大臣 清浦奎吾男爵 篆額
- 農商務次官 和田彦次郎氏 撰文
- 現在の位置：愛知県岡崎市中島町
字上町 八幡社境内

- **碑文** << click on

1 5 . 記念碑設立 (pp131--133)

副委員長 鶴田勝蔵氏



岡崎市中島村地整規記念碑

文 献

- 愛知県；「第四章 碧海郡六ツ美村大字下中島耕地整理成績」，
愛知県耕地整理事業報告 第壹輯， p p 61～134 ， (1908)

なお、上記文献は 国会図書館 近代デジタルライブラリー

<http://kindai.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/837967>

に収録・公開されています。